

かわにし



No. 1138



特集

女性の視点で まちづくり

川西町誕生
60周年

主な内容

11月22日(日)、川西町女性議会を開催します。
町長から委嘱状を受け取った15名の女性議員。それぞれが日頃抱えている悩みや、町への想いとは。
当日は一般質問形式で、女性ならではの想いを述べていただきます。
女性だけでなく、男性も一緒に女性議会の傍聴してみませんか。
(→関連記事P2~5)

特集:女性の視点でまちづくり	P2~5
平成26年度決算公表	P6~7
平成27年度川西町民表彰	P8
マイナンバーの「?」を解決します	P9

女性ゼロ議会

山形県内の35市町村の議会で、女性が一人もいない女性ゼロ議会は10市町村あり、県内の議員総定数に占める女性議員は約1割にとどまっています（平成27年10月16日現在）。本町の議会も、議員15名の中に女性が一人もいない女性ゼロ議会となっています。

また、現在町で策定を進めている「第5次川西町総合計画」の主要プロジェクトの一つに「女性にやさしいまちづくり」を掲げ、妊娠・出産・子育て環境の充実や、女性目線での施策展開など、女性が住みやすいまちづくりを目指し、議論を深めています。女性にやさしいまちづくりのためには、家庭や職場などの理解と協力、子育て環境の充実など、女性が活躍できる環境整備が課題となっています。

女性議員数	54人
議員定数	533人
割合	10.1%

▲県内市町村の議員定数に占める女性議員の割合(H27.10.16現在)

女性を10人目の視点で

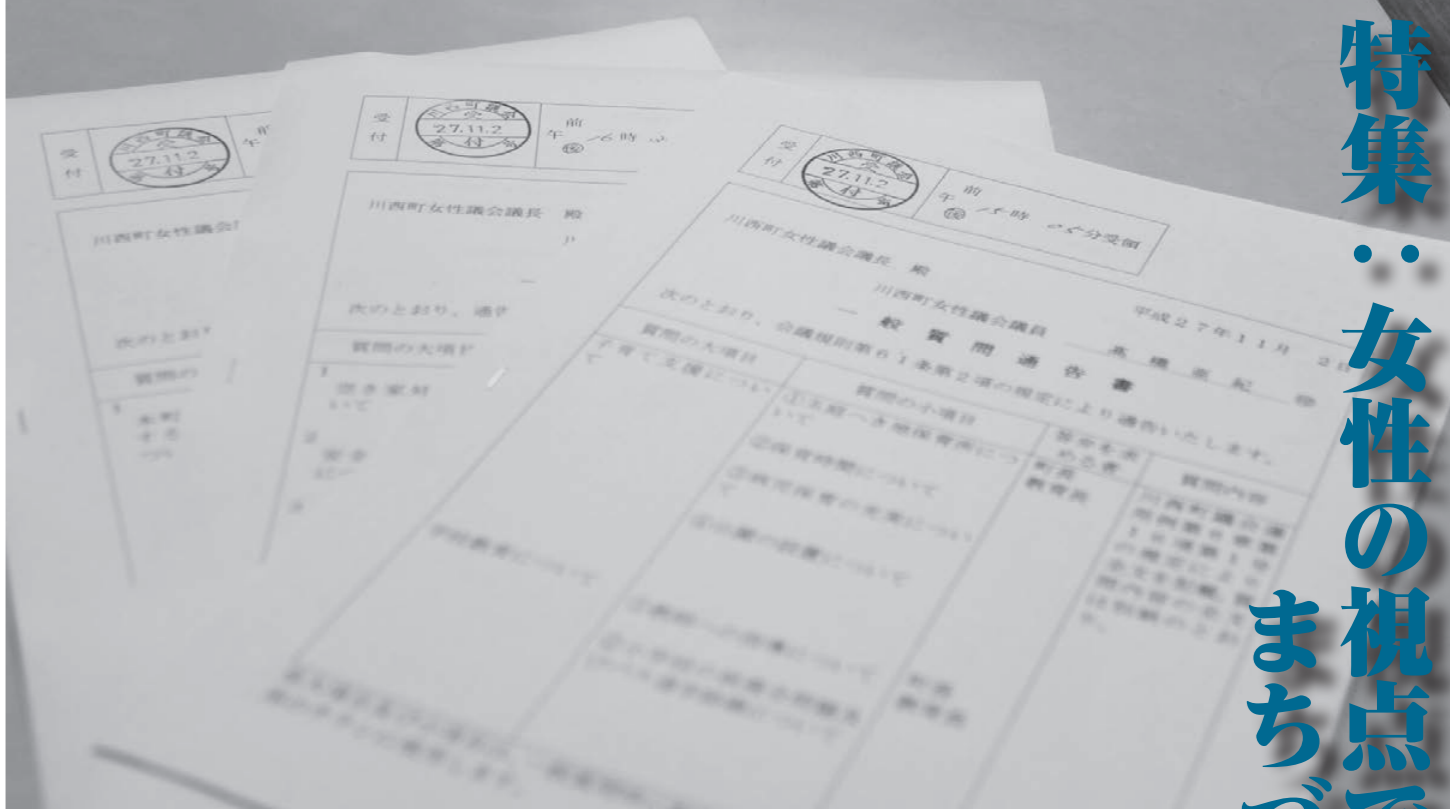
川西町女性議会は、このような現状を踏まえ、町内の女性が日ごろ抱えている悩みや将来のまちづくりに対しての思いなどを、女性ならではの視点で提言していただき、その提言を町政に反映するために企画しました。

9月20日に委嘱状交付式を行い、原田町長から15名の女性議員の方々に委嘱状を交付しました。それ以降、女性議員の方々は、約2か月間、「ひとつづくり」・「ちいきづくり」・「しごとづくり」の3つの委員会にわかれて勉強会を行っています。

その3委員会の代表者に日ごろ町に抱えている思いや、女性議会に対する意気込みを伺いました。



▲22日は、演壇に登壇して一般質問を述べていただきます



11月22日、川西町誕生60周年記念事業のひとつ、川西町女性議会を開催します。15名の女性議員が3委員会に分かれて、それぞれの分野で女性が抱える悩みなどについて話し合ってきました。当日は、その内容について一般質問形式で行います。女性が日ごろ抱えている思いや願いとは。そして、町で現在策定している「第5次川西町総合計画」の主要プロジェクトのひとつ「女性にやさしいまちづくり」の実現に向けて必要なことは何か、みなさんも考えてみませんか。



▲町議場。22日はこちらで女性議会を行います

ひとつづくり委員会

ひとつづくり委員会では、結婚子育て分野、学校教育分野、社会教育分野、福祉分野で、平日頃感じている課題に対して、活発に意見を出し合っています。

委員長である竹田恵子さんは、「女性議会での勉強会を通して、普段は出会うことのない、自分と違った地区に住んでいる人や、自分と違った年代の人と色々な話をすることができて、今まで知らなかったことが見えなかったことがたくさん発見できています」と話してくださいました。

ひとつづくり委員会では、若い人ほど住みやすい場所を求めて、町外へ転出しているという現状を踏まえて、「これからの川西町を盛り上げていく若い人が暮らしやすい町に」とい

う視点を大事にしなが話し合いを行っています。

委員会ではその視点のほか、若者同士の交流や、若者が結婚し、この町で暮らしていくために必要なことや、子育て世代の女性が抱える悩みなど、子育て世代の方や、子育てを経験した方、これから社会に出ていく若者が、まさに今抱えている悩みを「お茶飲み話」のように、和やかな雰囲気の中でも、みんなさまざまな意見を出し合いながら、一般質問をまとめてきました。

竹田さんは、22日の女性議会本番について「今まで議会は遠い存在のイメージでしたが、今回自分たちが議員となる以上、議会のルールを守りながら、みんなが出てくれた意見をきちんと伝えていきたいです」と、意気込みを教えてくださいました。

	氏名	地区
1	藤本 垂希 さん	玉庭
2	竹田 恵子 さん	小松
3	江袋 淳子 さん	犬川
4	佐藤美由紀 さん	東沢
5	高橋 垂紀 さん	小松

▲ひとつづくり委員会名簿



お茶飲み話から

課題がみえてきた

ひとつづくり委員長

竹田 恵子さん (小松)



▲ひとつづくり委員会の様子。議場では緊張した雰囲気でした



さまざまな年代の女性に聞いてほしい
ちいきづくり委員長 窪村 郁子さん (小松)

ちいきづくり委員会

9月20日の委嘱状交付式の感想を伺うと、「議場に初めて入ったときは本当に緊張しました」と、ちいきづくり委員長の窪村さんは話してくださいました。

窪村さんは普段、町の地域おこし協力隊として、小松、大塚、東沢地で活動しており、各地区のHP作成や、高齢者向けのパソコン教室などで地域の方々との交流を深めています。

そんな窪村さんが委員長を務めるちいきづくり委員会では、地域を支えるコミュニティづくり・快適で住みよい環境づくり・安全安心なくらしづくりなどをキーワードに話し合いを行っています。

委員会での話し合いは、まず、それぞれの委員が率直に感じている町の課題を出し合い、その課題に対して、掘り下げて考えながら議論を深めています。

窪村さんにとって川西町は「近所づきあいなど、本当に人との繋がりが強い町」で、そのいいところを町外、県外に向けて発信していく必要性を感じており、その課題について話し合い、一般質問をまとめてきました。

最後に、当日について伺うと、「委員長を引き受けたからにはしっかりとこなしたいです。そして、今回私たちが考えた意見を、しっかりと今後のまちづくりに生かしてほしいです」と、窪村さんは意気込みを教えてくださいました。



▲ちいきづくり委員会の様子。活発な話し合いでした

	氏名	地区
1	大河原千代美さん	小松
2	窪村 郁子さん	小松
3	黒澤 昭子さん	大塚
4	鈴木 明美さん	吉島
5	竹田 愛海さん	小松

▲ちいきづくり委員会名簿

しごとづくり委員会

しごとづくり委員長の江本さんは、9月20日の委嘱状交付式で初めて議場に入った時に「なんてことを引き受けたのだろう」と感じてしまったそうです。

普段、ご自分で育てた野菜を加工し、ドレッシングなどにして販売している江本さんにとって、議会は「身近に感じられない場所」であり、まさか女性議員として議場で町長とやり取りするとは思っていなかったそうです。

そんな江本さんが委員長をつとめるしごとづくり委員会は、農業分野、6次産業分野、観光業分野について、委員のみなさんが日頃感じていた悩みや想いを出し合いながら、議論を深めています。

さまざまな年代の女性が集まり、



町民の、女性の生の声を届けたい
しごとづくり委員長 江本 牧子さん (小松)

中には町外で生活していた人も含めて話し合うため「自分とは違った視点の意見がたくさん聞くことができ、町の課題や悩みばかりでなく、町のいいところも再発見でき、改めていい町だなと思えました」と、委員会での話し合いの雰囲気を見せていただきました。

最後に、22日の本番を控え、当日に向けた想いを伺うと「今までは、なかなか距離を感じていた議会ですが、女性議員として活動しながら、町を動かすことの大変さを感じています。でも、今回は、日頃抱いている想いを伝えるチャンスをいただいたので、悔いが残らないようにみんなの想いを伝えたいです。そのうえで、その生の声がしっかり届いて、反映されることを願っています。」と、意気込みを教えてくださいました。

	氏名	地区
1	江本 牧子さん	小松
2	我妻 優子さん	吉島
3	齋藤みち子さん	中郡
4	中田 裕子さん	玉庭
5	遠藤 有華さん	吉島

▲しごとづくり委員会名簿



▲しごとづくり委員会の様子。和やかな雰囲気です

女性活躍推進法の成立

国では、女性が活躍する社会づくりを目的に、8月28日に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が成立し、平成28年4月1日から施行されることとなりました。

この法律により、国や地方公共団体、民間事業者（労働者301人以上）は、左記の事項を実施することとなりました。

- ▼ステップ1…現状把握、分析
女性の活躍に関する状況の把握、改善すべき事情についての分析
- ▼ステップ2…行動計画の策定、公表
ステップ1をふまえ、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定、届出、周知、公表
- ▼ステップ3…活躍情報の公表
自社の女性の活躍に関する情報の公表

これにより、働く女性が活躍する環境整備が一層進んでいくことが期待されます。



女性も、男性も一緒に

15名の女性議員の方々は、2か月のあいだ、川西町をよりよい町にするために、日頃からまちづくりに対して抱いている想いや、女性ならではのアイデアなどを出し合い、議論し、一般質問としてまとめてきました。

勉強会の中では、女性議会に向けた話し合いの他に「この女性議会を単なる60周年記念イベントとして終わらせるのではなく、この議会が終わった後も、私たちが発言した想いを町政に生かされているかを確認していくことが、私たち女性議員の役目だと思う」というように、まちづくりに対して非常に前向きな意見も出されています。

その、前向きな女性たちが活躍できるまちづくりのためには、職場や家族の理解のほか、支えてくれる男性の役割も非常に大きくなってきます。

11月22日は、町内にお住いの女性、町内にお勤めの女性はもちろんのこと、その女性を支える男性も一緒に、いつもよりちょっと近い目線で「まちづくり」について考えてみましょう。女性議会を傍聴してみませんか。

議会傍聴などのお問合せ
町議会事務局 ☎42-6674

◇歳出の状況

平成26年度に実施した主な事業は下のとおりです。

■土木費



- 冬期交通確保事業 2億9,965万円
- 公営住宅建設事業 1億5,574万円
- 北郷八ツ口線道路改良工事 1,647万円
- 高田仲沖線道路改良工事 1,626万円
- 上六角平谷地線局部改良工事 495万円

●町民1人あたり 63,100円

■農林水産業費



- 町有牛貸付管理事業 5,185万円
- 戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業 4,245万円
- 戦略的園芸産地拡大支援事業 1,002万円
- ダリヤ生産拡大支援事業 301万円

●町民1人あたり 33,589円

■教育費



- 小学校施設耐震化事業 1億6,485万円
- 川西夏まつり実施事業 440万円
- 外国語指導助手配置事業 423万円
- 放課後子ども教室推進事業 274万円

●町民1人あたり 64,718円

■公債費

●町民1人あたり 61,825円

■総務費



- 地区交流センター管理運営事業 8,318万円
- 旧第二中施設整備事業 5,344万円
- 地域おこし協力隊導入事業 1,331万円
- 防災対策事業 651万円
- 省・新エネルギー対策事業 305万円

●町民1人あたり 82,214円

■民生費



- 子供のための手当て支給事業 2億3,193万円
- 子育て支援医療事業 5,319万円
- ひとり親家庭等医療事業 862万円
- 配食サービス事業 86万円

●町民1人あたり 118,095円

■衛生費



- 一般廃棄物収集運搬事業 6,294万円
- し尿処理事業 5,112万円
- 母子保健妊産婦事業 723万円
- 廃棄物再生利用促進事業 537万円

●町民1人あたり 103,330円

■その他(消防費・商工費・議会費等)

●町民1人あたり 63,045円

◇企業会計・特別会計の決算

会計別	歳入額	歳出額
水道事業会計		
収益的収入・支出	5億561万円	5億980万円
資本的収入・支出*	8,916万円	2億4,122万円
国民健康保険事業特別会計	18億4,885万円	18億1,796万円
下水道事業特別会計	5億5,026万円	5億4,181万円
農業集落排水事業特別会計	8,706万円	8,245万円
介護保険事業特別会計	17億3,826万円	17億1,294万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,429万円	1億5,108万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、消費税資本的収支調整額758万円及び損益勘定留保資金1億4,448万円を補てんしました。

◇財政健全化判断比率

平成19年度決算より財政健全化にかかる各指標の公表が義務付けられました。これは、財政状況の悪化している県や市町村が早期に健全化に向けた対策を取るよう定められたものです。

健全化判断比率	平成26年度川西町の状況	早期健全化基準(イエローカード)	財政再生基準(レッドカード)
実質赤字比率	0.00%	14.32%	20.00%
連結実質赤字比率	0.00%	19.32%	30.00%
実質公債費比率	10.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	124.3%	350.00%	

公営企業会計に係る資金不足比率	平成26年度川西町の状況	早期健全化基準(イエローカード)
下水道会計	0.00%	20.00%
農集排会計	0.00%	
水道会計	0.00%	

各比率とも基準を超えるものではありませんでしたが、今後とも健全経営に努めてまいります。

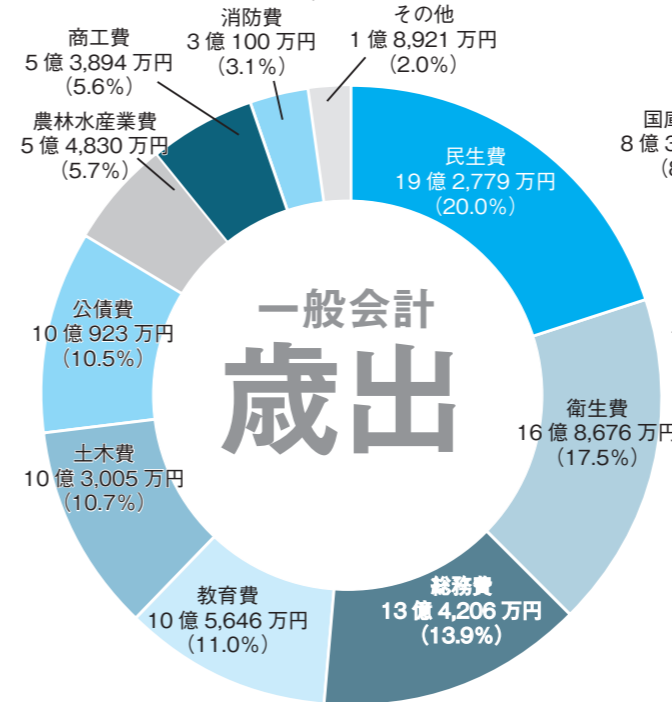
平成26年度

決算公表

町の財政状況と税金の使いみち

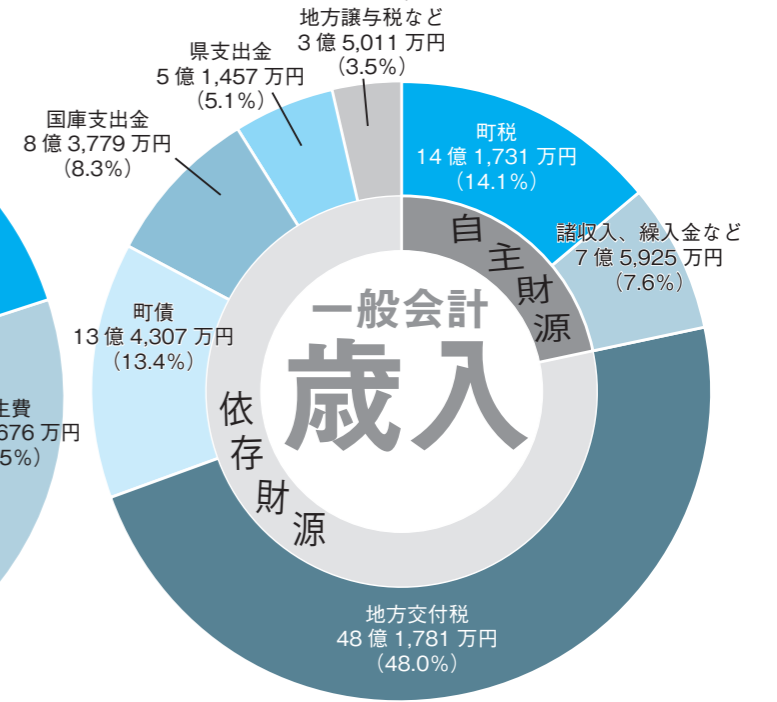
歳出総額

96億2,980万円



歳入総額

100億3,991万円



◇歳入の状況

平成26年度の一般会計決算額は、歳入が100億3,991万円、歳出は96億2,980万円、歳入、歳出差引額は4億1,011万円となりました。また、このうち翌年度に繰り越した事業分を差し引くと、3億1,396万円の繰越額となりました。なお、平成25年度決算との比較では、歳入で5億5,311万円の減(5.2%の減)、歳出で6億6,828万円の減(6.5%の減)となりました。

町民の皆さんに納めていただいた町税は、14億1,731万円を構成比は14.1%を占め、前年度対比で4.4%の増となりました。また、本町の最大財源である地方交付税は48億1,781万円を構成比は48.0%を占め、前年度対比では0.7%の増となりました。このうち置賜広域病院組合分を差し引いた本町純粋分の交付税額は35億4,204万円、前年度から3,460万円の増となりました。特定財源では、国庫支出金が、前年度対比で39.8%の減となりました。県支出金は、前年度対比で6.0%の減となりました。町債は、前年度対比で11.1%の減となりました。



※町民一人当たりの額の算出は、平成27年3月31日現在の住民基本台帳1万6,324人を基に算出しています。※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしています。

平成27年度 川西町民表彰

11月3日、町議場で平成27年度町民表彰式典を行いました。町では昭和50年に「川西町表彰条例」を制定、昭和56年に「川西町長堀堰農業振興基金条例」を制定し、町政発展に功績のあった方の表彰を行っています。

また、今年度から新たに「川西町商工業経営近代化育成基金条例」に基づく表彰を行い、次の6名が受賞されました。



▲左から、高橋建一さん、島貫徳右工門さん、高橋忠さん、井上京七さん、鈴木孝幸さん、大沼藤一さん

川西町表彰条例表彰 地方自治功勞

高橋 忠さん（上小松）
平成7年、川西町議会議員に初当選以来5期20年の長きにわたり地方自治の振興発展に貢献されました。

この間、総務常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、議会選出監査委員、町議会副議長、置賜広域病院組合議会議員等の要職を歴任されました。

特に、平成21年5月1日から平成23年4月30日までの2年間、副議長として持ち前の手腕を充分に発揮され、議会権能の高揚と議会運営の円滑化に尽力されました。

地方自治功勞

島貫 徳右工門さん（洲島）
平成7年、川西町議会議員に初当選以来5期20年の長きにわたり地方自治の振興発展に貢献されました。

この間、産業建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、町議会副議長、置賜広域病院組合議会議員等の要職を歴任されました。

特に、平成23年5月1日から平成25年4月30日までの2年間、副議長として持ち前の手腕を充分に発揮され、議会権能の高揚と議会運営の円滑化に尽力されました。

地方自治功勞

高橋 建一さん（玉庭）
平成15年、川西町議会議員に初当選以来3期12年の長きにわたり地方自治の振興発展に貢献されました。

この間、総務文教常任委員会委員長、産業厚生常任委員会委員長、議会運営委員会委員長等の要職を歴任され、議会権能の高揚と議会運営の円滑化に尽力されました。

また、平成11年から4期12年の長きにわたり川西町農業委員会委員を務められ、農用地の利用調整に尽力され、担い手農家の育成と農家の経営向上に貢献されました。

川西町長堀堰農業振興基金条例表彰

川西町長堀堰農業賞
鈴木 孝幸さん（玉庭）
稲作を中心とした複合経営を模範的かつ積極的に実践され、中核的担い手として中山間地域の農業を牽引されてきました。

平成14年に「玉庭水田養魚研究会」を組織され、平成17年からは水田転作として鮎の養殖を開始されました。

平成19年には「玉庭農産物加工センター」を設置され、むくり耐加工と漬物加工を実施され、新たな雇用創出を図るなど地域の活性化に尽力され、本町農業の振興発展に貢献されました。

川西町長堀堰農業賞

大沼 藤一さん（西大塚）
稲作と畜産の複合経営を模範的かつ積極的に実践され、中核的担い手として、本町の農業を牽引されてきました。

平成18年に玉庭放牧場内に「黒べこの郷粗飼料・和牛生産組合」を設立され、繁殖部門と肥育部門の連携による地域内一貫体制による新たな米沢牛の生産基盤を確立されました。

また、川西肉牛部会長、JA山形おきたま米沢牛振興部会長を歴任するなど、先頭に立って指導力を発揮し、本町農業の振興発展に貢献されました。

川西町商工業経営近代化育成基金条例表彰

川西町商工業振興賞
井上 京七さん（中小松）
創業300年の老舗蔵元当主として、伝統に裏付けられた酒造りに真摯に取り組みながら、「川西町地酒による乾杯を推進する条例」の制定や、町内蔵元と提携し「乾杯用お猪口」の製作等に尽力されました。

また、酒蔵を見学施設として開放するほか、掏粋巧芸館館長として文化施設を運営されるとともに、国内外で積極的に営業を展開されるなど、地域産業の振興、本町文化の発展に貢献されました。

マイナンバーの「？」を解決！

マイナンバー（社会保障・税番号）制度が始まりました。そこで、今月号で改めてマイナンバー制度に関する疑問にお答えします。

Q マイナンバー制度ってなに？

A 国民一人一人に12桁の番号を割り当て、行政手続き等で利用する制度です。

医療や福祉関連の手続きの際に、今まで添付が必要だった各種書類が省略できるようになります。

Q 個人情報の漏えい対策は大丈夫？

A 次の対策を講じています。

①法律に定めがある場合を除き、マイナンバーの収集・保管を禁止していません。

②個人情報各機関において分散管理されているので芋づる式の情報漏えいを防ぎます。

③マイナンバーが適切に管理されているかを、第三者機関が監視・監督します。

Q 通知カードは「通知カード」ですか？

A 11月中旬から発送を開始し、おおむね11月末までに、世帯全員分が世帯主宛に簡易書留で届きます。転送はされません。また、町内で不在の際は、不在連絡票が入りますので、再配達の手続きをお願いします。

Q やむを得ない理由で、通知カードが受け取れない場合はどうするの？

A DV被害や長期入院、施設への入所等で、住民票の住所で通知カードを受け取れない方は、居所情報の登録が必要です。町住民生活課にご相談ください。

Q 個人番号カードは、どうやって受け取ればいいのか？

A 希望者の方は、申請する必要があります。平成28年1月以降に町から交付通知書を送付いたしますので、原則本人が役場に来庁し、個人番号カードをお受け取りください。

▼通知カードと個人番号カードの比較表

	通知カード	個人番号カード
表面		
裏面		
交付対象	住民票を有するすべての方	希望者のみ
身分証明としての利用	不可	可
有効期限	なし	あり
電子証明書	なし	標準搭載（希望者は失効可能）
発行手数料	再発行：500円	初回：無料 再発行：800円 (電子証明書付きは1,000円)

詐欺に注意!!!

マイナンバー制度に便乗した詐欺にご注意ください。不審な電話、メール、手紙、訪問等には十分注意し、内容に応じて警察や川西町役場まで連絡してください。

もっと詳しく知りたい人はコチラ
マイナンバー社会保障・税番号制度HP
[http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/]

- ①マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178
- ②マイナンバー制度関連 0570-20-0178
- ③（全国共通ナビダイヤル）
通知カード・個人番号カード関連 0570-1783-578
- ④（全国共通ナビダイヤル）
町住民生活課戸籍住民グループ 42-6615

11月30日は「年金の日」

いいみらい

日本年金機構では、毎年11月を「ねんきん月間」と位置づけ、公的年金制度に対する理解を深めていただくための普及・啓発活動を積極的に行っています。

11月30日は年金の日

年金記録や将来の年金受給見込み額を確認し、未来の生活設計について考えてみましょう。

「年金ネット」を利用すると、自分の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給額について、さまざまなパターンの試算も可能です。

詳しくは、日本年金機構のホームページをご覧ください。か、米沢年金事務所にお問い合わせください。

国民全員が加入します

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の人は、国民年金に加入することが義務付けられています。

皆さんが納めている保険料は、現在の受給者の年金にあり、将来は現役世代の保

険料に支えられて「基礎年金」という共通の年金が受けられるしくみです。国民年金の加入者のことを「被保険者」といい、職業や保険料の納める方法により3つの種別に分かれています。(下図参照)

保険料は忘れずに納めましょう

▲平成27年度保険料月額：15,590円▼

未納期間があると、年金が受けられなくなる場合があります。経済的に保険料を納めるのが困難な人などのために、免除制度や納付猶予制度がありますので、早めにご相談ください。

また、前納や口座振替の早期制度により、保険料が割引になる制度もありますので、お問い合わせください。

知っ得！国民年金！

■社会保険料控除

納付した国民年金保険料は、年末調整や確定申告のときに申告すれば、全額が「社会保険料控除」として、所得控除の対象となります。

■後納制度

後納制度とは、時効で納めることができなかった国民年金保険料を、平成27年10月1日から平成30年9月30日までの3年間に限り、過去5年分まで納めることができる制度です。

利用することで、年金額が増えたり受給資格のなかった方も資格を得られる場合があります。詳しい内容は、左記専用ダイヤルまたは、お近くの年金事務所へお問い合わせください。

国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570・011・050

■お得な前納制度

国民年金保険料を複数月分まとめて前納することができます。

納付方法	前納保険料額	
	現金払 ・クレジットカード	口座振替
1か月分 翌月支払	15,590円	15,590円
1か月分 当月支払		(△50円)
6か月分	93,540円	92,780円 (△760円)
1年分	187,080円	183,760円 (△3,320円)
2年分	※382,200円	366,840円 (△15,360円)

()内は割引額

※平成27年度：15,590円×12か月＝187,080円
平成28年度：16,260円×12か月＝195,120円で算出しています。

・「前納」で納付する場合には手続きが必要です。
・口座振替の手続きは期限がありますので、町住民生活課にお問い合わせください。

届出忘れずに

受けられる年金は？

被保険者区分	変更理由	届け出先
第1号被保険者	就職して厚生年金や共済年金に加入したとき	勤務先
	自営業、学生、無職の方など	配偶者(第2号被保険者)の扶養になったとき
第2号被保険者	退職したとき	町住民生活課
	会社員、公務員など	退職して配偶者(第2号被保険者)の扶養になったとき
第3号被保険者 第2号被保険者の扶養になっている配偶者	配偶者が退職したとき	町住民生活課
	配偶者の扶養から外れたとき	
	離婚したとき	
	配偶者が65歳になったとき	勤務先
	就職して厚生年金や共済年金に加入したとき	配偶者の勤務先

●65歳になったとき

【老齢基礎年金】

国民健康保険料を25年以上(免除期間含)納めた人が、65歳から生涯受けられる年金です。繰上げ支給や繰下げ支給により、65歳になる前や66歳以降に受け取ることもできます。



※平成27年4月現在

老齢基礎年金額 (年額)
78万100円
(40年間すべて納めた場合)

●病気やけがで障害が残ったとき

【障害基礎年金】

けがや病気で、障害等級の1級・2級のいずれかに該当する場合に支給されます。※すでに老齢基礎年金の受給権者である人は障害基礎年金を受給できません。



※平成27年4月現在

障害基礎年金額 (年額)
*1級障害 97万5,100円
*2級障害 78万 100円

●一家の働き手が亡くなったとき

【遺族基礎年金】

国民年金の加入者などが亡くなったときにその人によって生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」に支給されます。

※平成27年4月現在

遺族基礎年金額 (年額)
*子(1人)のある配偶者が受ける場合
100万4,600円
*子(1人)が受ける場合
78万 100円

●第1号被保険者の独自給付制度もあります

【付加年金】

国民年金基金に加入していない第1号被保険者は、定額の保険料を納付する際に、あわせて付加保険料(月額4,000円)を納めると、老齢基礎年金に付加年金が加算されて支給されます。

付加年金額 (年額)
200円 × 付加保険料納付月数

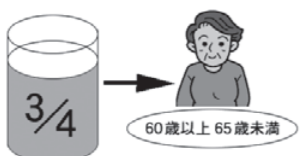
【死亡一時金】

第1号被保険者として保険料を納めた期間が3年以上ある人が老齢基礎年金、障害基礎年金のいずれも受けずに亡くなったとき、亡くなった人と生計をともにしていた遺族が受けられます。

死亡一時金額
第1号被保険者として保険料を納めた期間に応じて
12万円～32万円

【寡婦年金】

第1号被保険者として保険料を納めた期間(免除期間を含む)が25年以上ある夫が年金を受けずに亡くなった場合、10年以上婚姻関係にあった妻が60歳から65歳になるまで受けられます。



寡婦年金額 (年額)
夫が受けられたであろう第1号被保険者にかかる老齢基礎年金の4分の3

離婚した時の年金分割(2年以内に届け出下さい)

離婚などをした際に、厚生年金の保険料納付記録を当事者間で分割できる制度です。請求期間・離婚した日の翌日から起算して2年以内、または相手方の死亡日の1か月以内のいずれか早い日まで

国民年金機構 米沢年金事務所 ☎22-4220

この機会にご自身の年金について確認してみませんか。日頃の疑問点などなんでもお気軽に相談ください。

国民年金機構 米沢年金事務所

☎22-4220

町住民生活課

戸籍住民グループ

☎42-6615

11 もしかして あなたが救う 小さな手
月には児童虐待防止月間

一虐待が起きない、見過ごさない地域づくりを—

虐待は、どこの家にも誰にでも起こりうる身近な問題です。地域の方々のちょっとした「目くばり」「気くばり」で子どもたちを虐待から救えます。

気になることがありましたら、下記までご連絡ください。

【平日の連絡先】 午前8時30分～午後5時15分

☎町健康福祉課 福祉グループ ☎42-6635

【土・日・祝日・夜間の連絡先】

☎川西町役場宿日直受付 ☎42-2111

☎児童相談所全国共通3ケタダイヤル

☎189 (いちばやく)

上記健康福祉課及び児童相談所では、日ごろから出産や子育てに悩んでいた、子育て支援サービスを利用したいという方のご相談もお受けしています。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。



里 あたたかい愛情と理解を
親家庭を募集しています

里親とは、さまざまな事情により家庭で暮らせなくなったお子さんを自分の家庭に迎え入れて、温かい愛情と理解を持って養育して下さる方をいいます。

里親には養育費として、里親手当、生活費、学校教育費、子どもの医療費などが支払われます。

制度の内容など、詳しくは下記にお問合せください。

☎山形県中央児童相談所 ☎023-627-1198

第12月1日～10日まで
67回人権週間

1948年の国際連合の総会において「世界人権宣言」が採択されことを



記念して、法務省により翌年の昭和24年から毎年この期間を「人権週間」と定め、各種事業を展開しております。

本町でも期間中「人権なんでも相談所」を次のとおり開設します。

夫婦・家族間のいざこざ、学校でのいじめ、子供・高齢者への虐待、近所とのトラブル、遺産相続、騒音・悪臭などの公害、土地の境界問題、登記、戸籍等、気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守します。

■日時 12月1日(火) 午後1時30分～4時

■場所 生きがい交流館

■人権擁護委員の皆さん

島貫明さん(上小松)、高根功さん(尾長島)

長谷川譲治さん(玉庭)、安部真さん(下小松)

後藤友子さん(西大塚) 大河原美千代さん(上小松)

☎町住民生活課 戸籍住民グループ ☎42-6615

●税金の納期内納付を

今月は、固定資産税・都市計画税第4期、国民健康保険税第5期、介護保険料第5期、後期高齢者医療保険料第5期の納付月です。納付期限は**11月30日**(口座振替も**11月30日**)になりますので、早めの納付や口座残高の確認をお願いします。

口座振替を利用されている方は、口座残高不足等により口座振替とならなかった場合、再度の振替ができなくなりますのでご注意ください。

●便利で安全な口座振替を

納付月の口座振替日に指定の口座から自動振替で納付ができます。新たに利用される方は、金融機関窓口にある口座振替依頼書に必要事項を記入のうえ、振替先となる金融機関へ提出してください。申し込みされた翌月又は翌々月から振替を開始します。

利用できる金融機関は次の本店及び各支店です。

山形銀行・山形おきたま農業協同組合

山形中央信用組合・米沢信用金庫・ゆうちょ銀行

●督促状の送付について

納付期限までに完納されない納税義務者に対し、納付期限後20日以内に督促状を送付しています。納付期限までに納められないようご注意ください。

なお、町が納付を確認するには、金融機関などで納付いただいてから若干の日数がかかります。納付書の納付期限を過ぎて納付されると、行き違いで督促状が発送されてしまう場合がありますので、トラブルを避けるためにも、納付期限内の納付をお願いします。

☎町税務収納課収納グループ ☎42-6634

●プレミアム率20%!
プレミアム付商品券販売開始

1,000円券12枚(計12,000円分)の商品券を1セット10,000円で販売します。

[1セットあたりのプレミアム額 2,000円]

■販売条件 1世帯あたり購入数は5セットまで

(子育て応援パスポート保有世帯は8セットまで)

なお、商品券は現金販売のみとし、売切れ次第販売終了となります。

■販売総数 5,000セット

■利用期間 平成27年11月21日(土)～平成28年3月31日(木)まで

■販売期日及び販売場所

・11月21日(土) 午前9時30分～午後3時30分
中央公民館大ホール

・11月21日(土) 午前9時30分～午後1時

小松地区を除く、各地区交流センター

※販売残部は、町内指定販売店、商工会で販売します。

☎町産業振興課商工観光グループ ☎42-6645

人・農地プラン作成状況についてお知らせします

人・農地プランとは

農業が厳しい状況に直面している中、5年後、10年後の地域農業のあり方を地域や集落の農業者などによる話し合いで決めていくものです。地域で、中心となる経営体(地域の担い手、農地の受け手)を決め、農地の集積計画や利用図作成など、将来的な「集落営農の未来設計図」を描いていきます。町ではこれをもとに「人・農地プラン」として作成します。

川西町の
人・農地プランの概要

町では、平成23年から地区内での徹底した話し合いを推進し、今後の地域農業・集落営農の在り方を示すプラン作成を進めてきました。現在、15地区でプランが作成され、今後さらに1地区で作成が予定され、町全体でプランが作成される見込みです。今後とも地域に根差した人・農地プランであるために、農業者のみなさんの積極的な話し合いへの参加を促すとともに、定期的な見直しも進めてまいります。

●各地区人・農地プランの概要(平成27年10月末現在)

地区名エリア	作成年月 更新年月	中心となる 経営体数	連携する 農業者	その他の 農業者	特徴ある今後の地域農業のあり方
東沢(297.1ha) 東沢地区全域	平成24年12月 平成26年11月	12経営体	4経営体	64経営体	・漬物やそばを活用した6次産業化の取り組みから、農業収益の向上を目指していく。
坂町(34.3ha) 坂町地区	平成25年3月 平成27年6月	3経営体	7経営体	10経営体	・地域内の農地集積を進め、将来的には中心となる経営体の新規就農者2名に集積していく。
東大塚(91.4ha) 東大塚地区	平成25年6月 平成27年3月	6経営体	5経営体	11経営体	・水稻と合わせて基盤整備を契機とした土地利用型園芸作物を導入し、地域の活性化を図る。
吉島(1,006.1ha) 吉島地区全域	平成25年6月 平成27年8月	103経営体	23経営体	185経営体	・町内の8割以上の紅大豆を生産する一大生産地であることから、紅大豆生産研究会と連携した加工品の開発などの取り組みを行う。
小松(401.7ha) 小松地区全域	平成26年1月 平成27年2月	25経営体	5経営体	170経営体	・大豆や野菜、香草を活用した加工品の取り組みを行う。また、こまつ市への参加、商店・JAと連携し農業収入の向上を目指す。
犬川(563.8ha) 犬川地区全域	平成26年1月 平成27年8月	73経営体	5経営体	107経営体	・後継者がスムーズに就農できるように、基盤整備を進め、農業環境の整備を図り、基盤整備を契機とした園芸作物の産地化を目指す。
中郡中央(91.5ha) 苧・太夫小屋 ・遠江小屋地区	平成26年1月 平成27年3月	5経営体	3経営体	42経営体	・稲作と大豆・野菜・果樹の複合経営を進め、適期収穫による良品質な収穫物を生産し、安定的な出荷を行う。
玉庭(419.4ha) 玉庭地区全域	平成26年1月 平成26年11月	15経営体	14経営体	145経営体	・町内随一の米沢牛肥育地域として、更なる品質向上を図る。また、耕畜連携を積極的に進め、飼料生産の拡大を図る
時田(231.1ha) 時田地区	平成26年8月 平成27年8月	16経営体	2経営体	65経営体	・主食用水稻と有畜農家に供給する飼料作物などを中心に地域農業を展開していく。今後も耕畜連携を推進し、経営安定化を図る。
下奥田(118.8ha) 北向・荒窪・ 八幡原地区	平成26年11月 平成27年2月	9経営体	12経営体	18経営体	・複合経営の推進と、地域内食品加工者と連携した加工製品製造と町6次産業拠点施設の活用による所得向上を図る。
大塚菊田(57.4ha) 大塚菊田地区	平成27年3月	6経営体	16経営体	9経営体	・複合経営の推進と、地域内加工食品と合わせて農産物の高品質・多品目生産による所得向上を目指す。
大塚南方(113.7ha) 大塚南方地区	平成27年3月	18経営体	10経営体	71経営体	・水稻を軸に畜産、飼料作物、園芸作物などへの複合経営を推進する。また、耕畜連携や資源循環などを推進し、経営の安定化を図る。
大塚北方(96.5ha) 大塚北方地区	平成27年3月	14経営体	6経営体	50経営体	・地元食品加工者との連携や、果樹・野菜などの安定生産により所得向上を目指す。耕畜連携・農地集積による労働時間・経費の削減を図る。
中大塚(202.8ha) 中大塚地区	平成27年3月	23経営体	14経営体	68経営体	・基盤整備事業を契機に、水稻、土地利用型の野菜と収益性の高い労働集約型の野菜の生産振興を目指す。
堀金(233.5ha) 東部1～4地区	平成27年3月	25経営体	12経営体	48経営体	・水稻、大豆、飼料作物、園芸作物などの複合経営を推進する。周年農業の確立など、新規就農しやすい環境整備を進める。

エリア面積合計	3,971.2ha	全水田面積におけるプランカバー率	約90%
---------	-----------	------------------	------

川 募集1名!
西町子ども・子育て会議委員の募集

町では、平成27年4月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、子育て支援事業を実施しています。新制度の実施や、その事業計画等についてご意見をいただく場として「川西町子ども・子育て会議」を設置しておりますが、現委員の2年間の任期が満了となることから、次期の委員を募集します。

- **要件** 町内に住所を有する満20歳以上の方で子育て支援に関心のある方
ただし、地方公共団体の議員、職員は応募できません。
- **任期** 委嘱の日から平成29年3月31日まで
- **締切** 12月4日(金)午後5時(当日必着)
- **応募** 応募用紙に必要事項を記入の上、下記に提出してください。
応募用紙はホームページからダウンロードすることができます。
- **選考** 応募された方の中から必要に応じて面接を行ない選考します。

☎町教育総務課子育て支援グループ ☎42-6671

子育て支援センター であら だより

*11月・12月のルンロン子育て広場
午前9時30分～11時30分

*町立幼児施設開放日 午前10時～11時
12月9日(土)

*おぼんカフェ(子育てサロン) 午前10時30分～11時30分
12月8日(土) 冬のおやつづくりのコンポート

*幼児ごとばの相談室 午前9時～(完全予約制)
11月16日(日) 12月21日(日) ☎町教育総務課 ☎42-6671

☎子育て支援センターであら ☎44-2822

川 沢山の応募、ありがとうございました!
西町省エネチャレンジ結果発表!

昨年に引き続き「川西町省エネチャレンジ」を実施し、参加者の皆さんには、それぞれ工夫しながら節電に取り組んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

～結果発表～ (一人当たりの削減率)

- 最優秀賞 淀野 慎二さん 削減率11%
- 優秀賞 佐藤 千恵美さん 削減率8%
- 片倉 和之さん 削減率8%

冬季も暖房や照明などで電気の需要が多くなる季節です。体調には十分気をつけ、無理のない範囲で節電にご協力をお願いします。

☎町住民生活課 生活環境グループ ☎42-6618

県民手帳・農業日誌・ファミリー日誌・新農家暦を販売中!

- 県民手帳 600円
- 農業日誌 1,500円
- ファミリー日誌 1,500円
- 新農家暦 520円

2016年版



■ 申込場所

最寄りの統計調査員または町企画財政課政策調整グループまでお申し込みください。

※ 伏見屋書店(上小松)でも取り扱います。

☎町企画財政課 政策調整グループ ☎42-6695

学校給食放射性物質検査について

❖ 県外産食材の学校給食検査結果

指定食材	ニンジン(北海道産) ※10月22日献立食材	
食材No.	給食-1022-川西-5-ニンジン	
検査日 及び単位 (ベクレル/kg)	ヨウ素	不検出(<5.5)
	セシウム134	不検出(<7.9)
	セシウム137	不検出(<9.7)
10月21日		

☎町教育総務課 教育総務グループ ☎42-6659

パソコン教室を開催します

- **場所** 中央公民館 401号室
- ◆ 12月7日(月) 午前10時～午後3時
「ワードや年賀状作成ソフトを使って年賀状を作ってみよう!!」
- ◆ 12月8日(火) 午前10時～午後3時 「タブレット入門～案内に便利、チラシを作ってみよう!～」

※ 12時～午後1時お昼休憩を含みます。

※ 「パソコン、タブレット、インターネットなんでも相談コーナー」を設けます。

☎町まちづくり課 地域づくり推進室 ☎42-6613



定員
10名
参加費
無料

農 お忘れなく!
農業用ビニール等を回収します

川西町農業用使用済プラスチック適正処理推進協議会では、環境保全の取り組みとして廃棄処分する農業用ビニール等を無料または有料で回収しますので、指定場所までご持参ください。

- **日時** 11月26日(木) 午前9時20分～11時30分
午後1時～2時30分
11月27日(金) 午前9時～11時30分
午後1時～2時00分

■ **場所** 川西町埋蔵文化財資料展示館北側駐車場(上小松813-1)

■ 処理料金

- ① 良質リサイクル品(リサイクルできるきれいなもの)…無料
- ② リサイクル品(農ビ・農ポリ・マルチ・肥料袋・育苗箱等)…47円/kg(税別)
- ③ 再生不向き品(ホース・反射シート・不織布・ブルーシート等)…1,350円/専用袋(税別)

■ 取扱物 農業用ビニール・ポリ・プラスチック等

☎町産業振興課 農業グループ ☎42-6641

☎JA山形おきたま川西支店振興担当 ☎42-2150

か 定員16名の人気講座!
かにしまちキッズキッチン(クリスマス編)

子どもだけで料理を作る食体験教室です。「自分でできた、楽しい、おいしい」の体験から、子どもの生きる力を育みます。

- **日時** 12月6日(日) 午前9時30分～午後1時
- **場所** 川西町農村環境改善センター
- **対象** 年長児、小学1～3年生
- **参加費** 子ども一人につき1,500円
- **内容** 子どもたちだけで調理実習し、親子で試食します。

■ **講師** NPO法人 食育ママ 加藤 弥栄子 氏

■ **申込** 11月20日(金)までお申し込みください。
*申し込み多数の場合は抽選となります。
*受講決定の方へ案内を送付いたします。

☎町健康福祉課健康推進グループ ☎42-6640

年 希望者はお早めに!
年末時期のし尿汲み取りについて

年末のし尿汲み取りは毎年大変込み合います。年内(12月28日まで)の汲み取りを希望される場合は、12月11日(金)までお申込みください。

また、汲取手数料が未納の場合は、お申込みができませんので、期限内の納付にご協力をお願いします。

☎南陽クリーンセンターし尿汲み取り申込所 ☎40-2612 (受付:平日8時30分～17時)

12月からの「資源ごみ」回収は
地区交流センター前で!

冬期間(12月から3月)の資源ごみ(ビン・缶・古紙)回収場所は各地区交流センター前となります。詳しくは「ごみ収集カレンダー」をご確認ください。

回収された空き缶やビン・紙類は貴重な資源であり町の収入源になります。皆様のご協力をお願いいたします。



☎町住民生活課 生活環境グループ ☎42-6618

ま 得する街のゼミナール
まちゼミ川西開催!

川西町内のお店で、お得なミニ講座を開催します!『まちゼミ』とは、お店の方が講師となって、そのお店が持つ専門知識やプロのコツなどを無料で教えるミニ講座です。

- **期日** 12月1日(火)～12月6日(日)
- **場所** 各参加店舗
- **費用** 無料(実費負担がある講座もあります)
- **申込** チラシをご覧の上、参加希望の事業所に直接お申し込みください。

※定員がありますので、お早めにお申し込みください。

☎町産業振興課 商工観光グループ ☎42-6645

米 定員20名! ご飯を使ったお菓子作り
加工セミナー参加者募集!

川西産米の利用拡大、6次産業化の推進を図るためのセミナーを開催します。

セミナーでは、ご飯を50%使用したワッフルとドーナツ作りを学びます。

ご家庭で簡単に作れ、ふんわりとした食感はおやつにピッタリ!野菜や果物を加えるなどアイデア次第でさまざまなバリエーションが生まれ、商品化も期待できます。

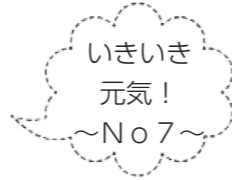
■ **内容** ご飯を50%使用したワッフルやドーナツ製造の実技指導

- **日時**
【第1回】12月4日(金) 午後1時30分～4時30分
【第2回】12月11日(金) 午後1時30分～4時30分
- **場所** 置賜農業高等学校 食品加工実習室
- **講師** 河原 俊雄氏

平成25年5月まで置賜農業高等学校にて食品加工について指導。

■ **申込** 11月25日(水) 午後5時まで
☎町産業振興課6次産業推進室 ☎42-6696

～健康かわにし21計画（第2次）推進中～



歯は宝！健康な歯を守るのは、私自身！！

歯の役割ってなに？

- ・食べものを噛み砕き、消化・吸収を助ける。
- ・発音を助ける。
- ・顔の形を整える。
- ・噛むことで脳に刺激を与える。

会話がスムーズに出来たり、美しい表情を作ることができるのも、歯のおかげです！！
健康的な生活をするためにも、歯は欠かせないものです。



むし歯予防は、家族全員で！ はじめよう、歯と口の健康づくり

～今日からできる！

わたしの歯の健康づくり～

- ◆食べたら、しっかり歯磨きを
歯と歯の間の汚れも取り除こう！
- ◆定期的に歯と歯ぐきの健診を！
- ◆ガラガラ食いはむし歯の原因！
規則正しい食生活を心がけ、良く噛んで
食べましょう
- ◆歯磨き粉や歯科医院でのフッ素塗布など、
上手にフッ素を利用しよう
(幼児～中学生までは、町事業で実施しています)

☎町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

歯を失う二大原因、それは、歯周病とむし歯です。成人の80%以上が歯周病とされています。

平成25年度に町民のみなさんに行ったアンケートによると、過去1年間に歯科健診を受けた人の割合は50.3%でした。

定期的な歯科健診は、歯と歯ぐきの状態を確認し、必要な時に素早く対応するために大切なことです。長く付き合えるかかりつけ医を見つけ、定期的に歯の健診を受けましょう。

そして、一生健康な歯で生活するためには、赤ちゃんの頃からむし歯予防に取り組んでいくことが大切です。小さな頃は、お子さん1人だけでむし歯予防に取り組むことはできません。「毎日の仕上げ磨き」、「甘い食べ物や飲み物を控える」、「1歳を過ぎたら、哺乳瓶・母乳を卒業する」など、ご家族全員でお子さんの歯を守りましょう。

歯 無料受診のチャンスです！
歯周疾患検診はお済みですか？

平成27年度の歯周疾患検診は、12月31日で終了となります。10年に1度の無料で受診できるチャンスです。歯科医療機関で治療や定期健診をされていない方は、ぜひ町の検診を利用し、ご自身の歯と歯ぐきの状態を確認しましょう。

詳細については、7月に個別通知しておりますので、案内文をご確認ください。

<平成27年度対象者>

- 40歳** 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
 - 50歳** 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
 - 60歳** 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
 - 70歳** 昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
- ※平成28年4月1日現在の年齢

☎町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

8 受賞おめでとうございます！
8020達成者コンクール H27年度結果！

県歯科医師会主催で、80歳以上で自分の歯を20本以上もつ方のコンクールが実施され、以下の方が優良賞を受賞されました。

- 小林花月丸さん(上小松) ○齊藤幸さん(上小松)
- 伊藤稔さん(上小松) ○高梨善兵衛さん(上小松)
- 佐藤修男さん(上小松) ○島貫昭男さん(時田)

受賞者から歯を失わない秘訣を一言いただきました。

- 「歯みがきを毎食後に欠かさずしています」
 - 「かかりつけ歯科医で定期的に診てもらっています」
 - 「少し歯がおかしいと思ったらすぐ歯医者にいきます」
 - 「魚を骨ごと食べています」
- 元気で楽しい生活の要となるお口の健康。みなさんもお口のケアを大切に！

☎町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

精 心身のリフレッシュに！参加無料！
精神障がい者の家族教室開催

精神障がいを持つ方のご家族を対象に、心身のリフレッシュを目的とした家族の交流会を行います。ぜひご参加ください。

■日時 12月17日(木) 午前10時30分～
昼食後解散

■場所 中央公民館 201号室

■対象者 精神障がい者の方のご家族

■内容 ①クリスマス風フラワーアレンジメントづくり
②家族の交流会(昼食会)

■方法 事前に電話で下記にお申し込みください。

☎町健康福祉課福祉グループ ☎42-6635

障 相談コーナーあり
障がい者福祉制度研修会のご案内

川西町の障がい者福祉制度について研修会を開催しますので、ご参加ください。

■日時 11月24日(火) 午後1時30分～3時

■場所 生きがい交流館

■対象者 障がい者やその家族、関心のある方など

■その他 研修会終了後、相談コーナーを設けます

☎町健康福祉課福祉グループ ☎42-6635

薪 平成27年度追加募集！！
薪ストーブの導入を支援します！

薪ストーブ等導入促進助成の追加募集を行います。

■対象者 町内にお住まいの方で、今年度中に、町内の住宅、事務所、農業用施設などに薪ストーブなどを設置する方

■助成対象経費及び助成金額

①薪ストーブ購入、取り付け等に係る経費の1/3以内の額で、上限が7万円

②ペレットストーブ購入、取付等に係る経費の1/3以内で、上限5万円

①、②いずれかを予算の範囲内で交付します。■締切日 平成28年1月15日(金)

☎町農地課農村林務グループ ☎42-6646

空 売却、賃借可能な空き家が 있습니다！
空き家を活用しませんか？

町では、移住に関する相談窓口を設け、売却や賃貸が可能な空き家の紹介等(川西町空き家バンク事業)を行っています。

現在、本町へ移住を希望される方からの問い合わせは増加傾向にあります。空き家の活用に関する支援事業もごございますので、空き家の有効活用を考えられている方は、下記までお問い合わせください。

☎町まちづくり課地域づくり推進室 ☎42-6613

若 海外で自分を磨いてこよう！
若者の海外研修を応援します！

町では、まちづくり活動に不可欠な行動力と広い視野を持った人材の育成を図るために、海外研修を実施する若者を支援します。補助金の交付を希望する方は、研修計画等を記載した企画書を提出のうえ、審査を通すことが必要となります。

■対象者 町内に在住する概ね18～39歳の個人またはグループで、研修の成果を広く報告し、まちづくり活動に積極的に参加できる方

■対象事業 国外におけるまちづくりの研修活動(ただし、平成28年3月末日までに事業を完了すること)

★事例1 国名：カナダ

・内容 ホームステイをし、語学習得しながら世界中に友達を作って川西町の魅力を発信した。

★事例2 国名：オーストラリア

・内容：川西町の農業振興に活かすため、レストランでは日本食の評判を聞き込み、スーパーでは米の価格や売上の調査を実施した。

■対象経費 研修に係る旅費、活動経費(町の規定にならう)

■助成率 対象経費の4/5以内(最大40万円)

■申込締切 平成28年1月29日(金)

■その他 町まちづくり課に交付要綱(企画書等様式)を準備しています。詳しくは下記までご連絡ください。

12月11日(金)まで提出された分について審査会を実施します。それ以降は、企画書提出順に審査・交付決定を行います。予算が無くなり次第終了とします。
☎町まちづくり課 地域づくり推進室 ☎42-6613

震 2030年まで応援します！
震災孤児遺児応援金の申請者募集

愛知ボランティアセンターでは、東日本大震災でお父さん・お母さんを亡くした子ども達を応援するための「震災孤児遺児応援 ワンコイン・サポーターズ2万人プロジェクト」を行っています。

■応募資格 2つの条件をともに満たす方

- ①東日本大震災による直接的、間接的な理由でご両親(のどちらか)、または保護者を亡くされた方
- ②2016年3月31日時点で18歳以下の方(定時制高校生は19歳以下も可)

■申込締切 平成28年3月末日(当日消印有効)

■応募方法 必要書類に記載の上、下記までお送りください。

☎NPO法人被災者応援愛知ボランティアセンター ☎080-4530-3117

こんにちは

いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるように、地域包括支援センターを積極的にご活用ください。

地域包括支援センターだより

町健康福祉課 介護支援グループ内 ちいきほうかつしえん 地域包括支援センター ☎42-6638

1人暮らし等の高齢者の方、バランスよく食べてますか？

～配食サービス事業のご紹介～



▲菊池きよさん (小松)

配食サービス事業とは、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯などの方が自立した生活を送ることができるよう栄養バランスなどを考慮したお弁当を提供するとともに、安否の確認を行うことを目的としています。

「よしじま四季の市加工所」で調理したお弁当を、シルバー人材センター会員が、利用者のご自宅に配達し、あわせて安否確認をさせていただきます。

- **対象** おおむね65歳以上で、下記のいずれかに該当する方。
 - ①ひとり暮らし
 - ②高齢者夫婦世帯
 - ③親子等高齢者のみの世帯
- **内容** 月曜から金曜（祝祭日及び年末年始を除く）に、各日昼食をお届けします。
- **費用** 1食300円（原則月ごとのお支払いです）
- **申込** 所定の「利用申込書」に必要事項をご記入のうえ、健康福祉課に提出してください

「野菜が豊富に入っていて栄養バランスがよく大変おいしくいただいています」と、利用者にも好評！

認知症の方を介護する家族支援

「介護者のつどい」 & 「西大塚カフェ」のご案内

介護者のつどい

期日：11月25日(水)
会場：生きがい交流館 (美女木)
時間：午前10時～11時30分
内容：茶話会
料金：無料



町地域包括支援センター ☎42-6638

西大塚カフェ

期日：12月17日(木)
会場：ケアセンターとこしえ西大塚
時間：午後1時30分～3時
内容：茶話会・体操
料金：無料



町ケアセンターとこしえ西大塚 ☎42-3555

認知症の人を支え合う「認知症サポーター養成講座」

認知症を正しく理解して地域で認知症の人や家族を温かく支えていただく「認知症サポーター」養成講座を実施しています。部落や自治会、職場等の集まりに出向きます。電話でお気軽にお問い合わせください。

健康カレンダー

町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

母子健康手帳交付

〈期 日〉12月14日(月)、28日(月)
〈受付時間〉午前9時～午後4時30分
〈場 所〉川西町役場 健康福祉課
〈持ち物〉妊娠届出書
※ご都合がつかないときはご連絡ください。

すくすく赤ちゃん健康診査

〈期 日〉12月18日(金)
〈受付時間〉午後1時～1時15分
〈場 所〉生きがい交流館
〈対象者〉平成27年7月16日～9月15日生まれの乳児
〈内 容〉身体測定、診察など
〈持ち物〉母子健康手帳、タオル、おむつ

3歳6か月児健康診査

〈期 日〉12月25日(金)
〈受付時間〉午後1時～1時15分
〈場 所〉生きがい交流館
〈対象者〉平成24年5月～6月生まれの幼児
〈内 容〉身体測定、内科・歯科検診など
〈持ち物〉母子健康手帳、問診票、尿、歯ブラシ
※フッ素を希望者に塗布します（負担金500円）。
※対象者へ事前に問診票を郵送します。

体ウォーキング推進事業

体を動かし、健康づくりに取組もう！

町では、ウォーキング推進事業を行っています。その事業の一つ、「まちプラ健幸ウォーキング」を川西歩こう会と共催し、10月17日に開催しました。気持ちの良い秋晴れの中、24名の参加者と小松地区内を歩きました。参加者同士、会話も楽しみながら全員が約4kmを完歩しました。また、もう一つの「楽笑健歩」には、10月末現在で74名が参加して下さいました。参加者の中には2回目の「楽笑健歩」に取り組んで下さっている方もいて、「体がスッキリして、よく眠れた」「健康に対する意識を持つことができた」「意識して歩くようになった」などの声が聞かれました。これからも自分のペースで体を動かし、楽しみながら健康づくりに取り組んでいきましょう。

～楽笑健歩目標達成者～

3か月以内に60万歩達成おめでとうございます！目標を達成された方をご紹介します。後藤しづゑさん 山口誠さん 上村正人さん 大内通典さん 片倉壮さん 勝見渡さん他26名の方が目標達成しました。(10月23日現在)

ぴかぴか歯っぴい教室

〈期 日〉12月17日(木)
〈場 所〉生きがい交流館

〈対象者〉	〈受付時間〉
平成25年12月生まれの幼児	13:20～13:30
平成26年10月、平成25年6月 平成24年12月生まれの幼児ほか 妊婦及び夫	13:30～14:00 13:50～14:00

〈持 ち 物〉母子健康手帳、タオル、歯ブラシ
※フッ素を希望者に塗布します（負担金500円）。
※2歳のお子さんは、うがいや歯みがきの指導がありますので1時間程度かかります。

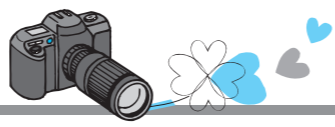
山 買わない・使わない・かわらない！ 山形県危険ドラッグ撲滅運動強化月間

～11月2日(月)から12月1日(火)まで～
危険ドラッグは、麻薬や覚せい剤と同様、またはそれ以上の有害性があり、さまざまな健康被害を引き起こします。意識障害や呼吸困難を起こして死に至ることもあり、実際に死亡事故や意識障害による交通事故も多く発生しています。危険ドラッグに関する情報や困りごとなど、お気軽にご相談ください。
町置賜保健所 ☎22-3872
町精神保健福祉センター ☎023-624-1217
町山形県警察本部 ☎023-635-1074
町山形県健康福祉企画課 ☎023-630-2332

11月生まれの方へ、 子育て支援医療証を郵送します

1歳児から小学6年生までの、誕生日が11月2日から12月1日の方に子育て支援医療証をお送りします。
■新しい医療証の有効期間
平成27年12月1日～平成28年11月30日まで
※小学6年生は平成28年3月31日まで
これまでの医療証は、平成27年11月30日までご使用いただけます。医療機関を受診する際は、医療証の有効期間を確認してからご使用ください。
■郵送時期 11月中旬ごろ※申請は必要ありません。
■健康保険証に変更がある場合は、届出が必要です
次のものをお持ちのうえ、窓口へお越しください。(持ち物) お子さんの健康保険証、医療証、印鑑(認印)
※現在医療証をお持ちでない方は、下記までお問い合わせください。
町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-2114

適正受診を心がけましょう
★今月のポイント★
病院を変えるたびに検査や診察をやり直すことで、身体的、経済的な負担が大きくなりますので、自分の判断だけで次々と転院するはしご受診は控えましょう。



▲農事組合法人夢里さん(東沢地区)から、記念に車椅子を2台贈呈していただきました

麗ですね。」と答えてくださいました。また、11月3日(祝)には、川西ダリヤ園切り花感謝デーを開催し、好天の中、県内外からダリアの愛好者が足を運び、綺麗に咲いた好みのダリアを持ち帰りました。川西ダリヤ園の今年の営業は終了しました。来年度も多くのお客様のご来園をお待ちしております。



▲親子そろって。来年もぜひお越しください

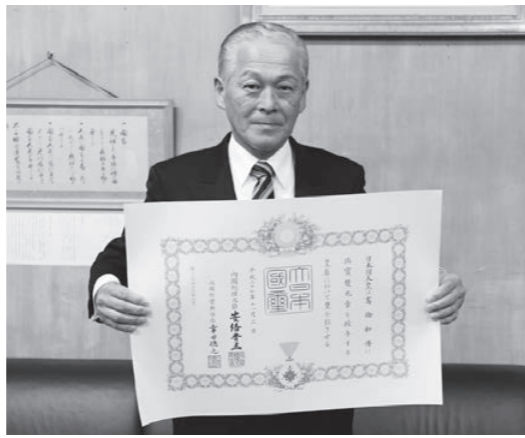


▲6万人目の来園者に、記念品を手渡しました

11/3 来園者6万人を突破！ ご来園、誠にありがとうございました

8月1日に開園した川西ダリヤ園は、11月3日に閉園し、のべ62591人の方にお越しいただきました。今年、町誕生60周年を記念したイベントを行ったほか、9月の大型連休、週末に続いた好天、「皇帝ダリア」の開花などの好条件に恵まれ、昭和35年の開園以来初めて「来園者6万人」を達成しました。記念すべき6万人目の来園者となった高橋さん夫婦は、埼玉県越谷市からお越しいただき、旦那さんの出身地が飯豊町ということもあり、帰省のときに来園されるそうで、「これまで6回程来ています。来るたびに綺麗になっていて、毎回来しみに来ています。秋のダリアはやはり綺麗

11/3 危険業務従事者叙勲を受賞



▲受賞された高橋和博さん(時田)

11月3日付で、総務省から第25回危険業務従事者叙勲(消防関係)の受賞者が発表され、本町の高橋和博さん(時田)が受賞されることとなりました。高橋さんは、昭和44年に川西町の消防士として入職し、以降、消防士長、消防指令長、消防次長兼庶務主幹を歴任され、平成22年からは、川西町消防監として、長きにわたり町民の命と安全な生活を守ってくださり、平成23年3月31日に退職されました。11月4日に受賞の報告にお越しいただき、11月9日には、東京都日比谷公会堂での伝達式に出席されました。

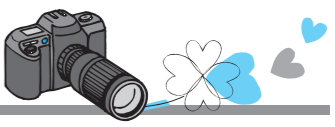
川西CATS全国大会出場決定！

第5回全国ママさんバレーボール冬季大会

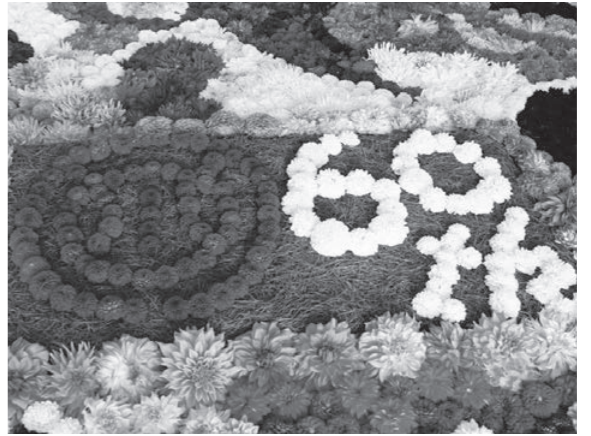


▲応援よろしくお願いします！

10月4日(日)、長井市生涯学習プラザで、第5回全国ママさんバレーボール冬季大会の山形県予選会が行われ、本町の「川西CATS」が優勝し、12月11日~14日に、鹿児島県鹿児島市で開催される全国大会への出場が決まりました。川西CATSは30代から60代のメンバーで構成され、5年前出場した全国大会で勝てなかった悔しさをばねに練習に励み、この結果に繋がりました。川西CATSではメンバー募集中です。興味のある方は、吉島マイミススポーツクラブ ☎42-2840まで。



▲堂々と行進を披露する小松小学校マーチングバンド



▲町の花「ダリヤ」と町の木「松」で作った町章

10/17 農・商・工の魅力を増進した一日

川西町誕生60周年記念事業 かわにし産業フェア2015

たまげたほこ天

10月17日(土)、川西町中央公民館及び羽前小松駅前通りを会場に、「かわにし産業フェア2015」と「たまげたほこ天」が同時開催されました。

「川西町の食と技『農業・商業・工業』が集う匠のまつり」がテーマの産業フェアと、中心市街地活性化を目的とした「たまげたほこ天」。町内産の新米や野菜、米沢牛ミニステーキをはじめとする特産品が販売されました。

また、畳の縫い付け、壁塗り、丸太切など匠の技の体験、町内企業による工業製品展示やクイズラリーなど工夫を凝らした展示が満載でした。

他にも、1085点の応募があったダリヤの絵画コンクールや、町誕生60周年を記念したダリア展示、小松幼稚園太鼓演奏、小松小学校マーチングバンド、川西中学校吹奏楽部や置賜農業高等学校吹奏楽部による演奏など、町の魅力が堪能できた一日となりました。



▲子どももまるで「職人さん」

10/11 町とともに刻んできた60年の歴史

川西町体育協会発足60周年記念式典



▲受賞者代表のあいさつを述べる齋藤院長

10月11日(日)、川西町農林環境改善センターで、川西町体育協会発足60周年記念式典が挙行されました。式典では、川西町体育協会発足60周年記念表彰にて3個人、7団体が表彰されたほか、山形大学地域教育学部の鈴木和弘教授を講師に招き、「子どもライフスタイルとスポーツ活動」と題した講演会が開催されました。記念表彰をいただいた齋藤接骨院の齋藤院長は「大変名誉な表彰をいただき、感謝しています。」と、感謝のあいさつを述べられました。

10/23 夕暮れ時は早めの灯火！安全運転を！

夕暮れ時街頭啓発活動

10月23日(金)、夕暮れ時のヤマザワ、うめや、ツルハドラッグ周辺にて夕暮れ時街頭啓発活動を行いました。

町内でも特に交通量が多く、買い物客の出入りが多くなっている3店舗周辺にて、買い物帰りのお客様に直接高齢者の交通事故防止などを呼びかける啓発チラシや、反射材などを配りながら交通安全を呼びかけました。

10月には、本町で2件の痛ましい交通事故死亡事故が発生しています。日没時間も早まり、これから降雪時期を迎えますので、みなさん安全運転を心がけましょう。

ネットかわにし（全国川西会議）は、兵庫県川西市、奈良県川西町、新潟県十日町市（川西地域）、山形県川西町で組織し、平成7年の阪神淡路大震災時に兵庫県川西市に支援を行ったことをきっかけに平成9年に発足しました。以降、災害時の支援や年1回の総会などで交流を深めてきました。この度、住民の方に理解を深めていただくとともに、これまでの職員同士の交流から、住民同士の交流に繋がっていくことを願って「ネットかわにし便り」を創刊しました。

感想…お互いの成長を 目指して 山形県川西町は、役場の若手職員が地域に溶け込んでいく、役場が中心となってではなく、住民が自ら町を良い方向へ進めているという印象を受けました。このことは、今後の地方自治体が進んでいくべき姿だと思えます。

ネットかわにし若手職員体験型交流研修会を開催

平成27年2月4日～6日の3日間、各市町の採用2～5年目の職員とそれぞれの事務担当者を含む16名が一期生となり、山形県川西町を会場に、ネットかわにし若手職員体験型交流研修会を行いました。

この研修は、顔の見える交流として、若手職員の人材育成と各市町の職員同士の交流推進を図るため、新に行ったものです。

1日目は、開講式で各市町の魅力などを踏まえた自己紹介を行い、顔合わせをした後に、山形県川西町の概要について説明をしました。夜も引き続き交流会を開き、年代が近い若者同士、お互いの市町について意見交換をするなどして交流を深めました。

「ネットかわにしコラボプロジェクト」提案内容

各ポイントでネットかわにし各市町の特産品を振舞うとともに、参加賞として、ネットかわにし構成市町どこでも利用できる「ネットかわにしクーポン」を配布する。

そっだー川西に行こう！

内容…各市町で行われるイベントやそれぞれの特産品をまとめたパンフレット「ネットかわにしまるわかり本」を作成し、各市町の住民が交流できる仕組みを創出する。



▲最終日のワークショップでは、職員同士が、活発に意見を出し合っていました。

豆の展示会の紹介

今、「豆」に特化した展示会を12月に東京で開催します。展示会では、町で採れた30種あまりの豆や、豆を用いた菓子や料理をご紹介します。一時は失われた川西町の在来品種「紅大豆」をはじめ、豆を通じて、川西町をPRしていきます。

家族やご友人など、近郊にお住いの方にご周知ください。



Table with event schedule: 12月4日(金) 13:00~19:00, 12月5日(土) 9:00~19:00, 12月6日(日) 9:00~16:00. Includes details about tea and food experiences.

山形かわにし「豆の展示会」 期日…12月4日(金)～6日(日) 時間… 4日(金)午後1時～午後7時 5日(土)午前9時～午後7時 6日(日)午前9時～午後4時 会場…上野桜木あたり(東京都台東区上野桜木2-116) ※入場無料

やまがた 里の暮らし推進機構

山形かわにし「豆の展示会」を開催し「NO BEANS, NO LIFE!」 今、注目されている食材「豆」に特化した展示会を3日間開催します。展示会では、川西町で採れた30種余りの豆や、豆を用いた菓子や料理をご紹介します。

開催期間 平成27年12月4日(金)～6日(日) 開催時間 4日(金) 午後1時～午後7時 5日(土) 午前9時～午後7時 6日(日) 午前9時～午後4時 会場 東京都台東区上野桜木2-15-6 <入場無料> 上野桜木あたり http://uenosakuragiatar.jp/



主催 やまがた里の暮らし推進機構、山形県川西町 共催 川西町紅大豆生産研究会 後援 山形県、一般社団法人日本豆業協会、新しい情報、どんどん新報中、Facebook 豆のあるまち かわにし twitter @川西まめすけ

空き家利活用勉強会

10月23日(金)に第2回空き家勉強会を実施しました。

今回の勉強会では、空き家バンク先進地視察として山形県遊佐町を訪問しました。

遊佐町では、役場内関係課職員による「定住促進施策庁内連絡会議」、役場や町内各種団体等で構成する「遊佐町IJUターン促進協議会」、移住者が中心に立ち上げた「いなか暮らし応援団」の各組織が連携して空き家対策・定住促進事業に取り組んでいることを学んできました。

今回の視察を参考にし、当機構でも川西町と連携して、移住者の受入体制の更なる充実に取り組みたいと考えています。



▲視察の様子。大変有意義な時間でした

ふるさとの味に舌鼓！〜東京川西会「いも煮会」開催〜

10月18日(日)に東京都あきる野市秋川橋河川公園で、東京川西会「いも煮会」が開催されました。当日は晴天に恵まれ爽やかな秋風の中、約190名の参加者は、ふるさとの仲間との再会で笑顔があふれ、昔話となつかしい味を楽しんでいました。

恒例の餅つきも行われ、威勢の良い掛け声とともに会場は大変盛り上がり、川西の特産品の販売では、ふるさとの味を求めに多くの人が列を作り、商品は完売となりました。東京川西会「いも煮会」は

毎年開催されています。ぜひ、来年もご参加ください。【東京川西会って?】 アルカディアの里東京川西会は、ふるさとの応援団です。首都圏在住の川西町出身者の方々が互いに親睦やふるさとの絆を深める、様々な行事を行っています。

ぜひ、首都圏在住のご家族や、ご親戚、ご友人にお声がけください。 町まちづくり課地域づくり推進室 4216613



晴天に恵まれ、大盛り上がりでした



第43回 H27年度 活動紹介

【空き家改修】 Vol.3 行いました。

担当：江本一宏・柚木大祐

9月21~23日に 空き家改修プロジェクト Vol.3を行いました。参加者は、福井県の協力隊一行（京都からの参加も）、県内大学生、地元の方々に来ていただきました。今回は、スス落とし、床張り作業を行いました。

改修作業だけでなく、おもいで館でビザ会、岡家では囲炉裏を囲んだ懇親会を行いました。

まだ作業はありますので、DIY好きの方は一緒にやりましょう！！



(写真1) ススを落とした梁

(写真2) 根太を張っている様子

【吉島地区】

Tougeeeeeeeeeeee

担当：長岡義和・長岡未実



吉島地区陶芸教室 全5回が終了しました。

制作の基礎から焼成までを体験して頂き、最終日は電気窯で焼く作品を作りました。5回目には慣れた手つきで作陶されていて、皆さん楽しそう。私達も貴重な体験をさせていただきました。参加された皆さん、地区センターの皆さん、ありがとうございました！作品の出来上がり、待っていて下さいね。

今後は藁・粉を使って陶器の釉薬作りを考えています。分けて頂けるという方はご連絡下さい！よろしくお願ひします。



ちまるデザイン室

(川西町地域おこし協力隊)

電話：(0238) 42-6694
chimaru@ms5.cat.omn.ne.jp
※藁・粉 情報は 長岡まで



町長室から

町長 原田 俊二
医療を守るために

文化祭、町民表彰式典が終了し、冬支度の最盛期となりました。現在県内の交通死亡事故に歯止めがきかず危機感を持って交通安全に取り組んでいます。ライトの早めの点灯、ハイビームを使い前方を注意する、「自動車は便利だけど凶器になる」を忘れず、安全運転に努めてください。

西川町を舞台にした映画「いしや先生」が完成、原作者のあべ美佳さんや永江二郎監督が来庁されました。映画は昭和10年、無医村で貧しく医療に恵まれない現西川町の大井沢村で、村長の娘で新米医師の周子先生が「3年だけお前の人生を俺にくれ」という親の願いを受け入

れ、貧困や偏見など幾重もの困難を乗り越え、生涯を地域医療に捧げた物語です。設備も交通機関もなく、大雪の中「命を守る」ためにたった一人で奮闘する姿は、医療の原点を考えさせられます。そして「いしや先生は神様だ」と誰からも慕われ、52歳の生涯を終えます。原作を読み、

ぜひ映画を見たいと思います。

今月から置賜病院組合の管理者を務めることになりました。開院から15年を迎えた公立病院と各サテライト施設が機能する医療システムは、日本の地域医療のモデルとして評価されてきましたが、人口減少、高齢化が進行し新たな課題も抱えています。地方では慢性的な医師、看護師不足が続いており、病院組合でも大きな課題です。「置病はすぐ退院させる」と言われますが、基幹となる公立病院の高度医療機能を最大限發揮するため、退院後の受け皿として、介護施設や開業医の先生と連携した総合的な支援体制が必要です。また基幹病院、長井、南陽、川西の各サテライト施設の改修等も今後の課題です。「置賜には県立病院がない」という住民の強い要望が実り、県と2市2町が議論を尽くして取り組んできたこの病院組合をさらに発展させるため頑張りたいと思います。

看護師は日勤（8時30分～17時15分）準夜（16時30分～1時15分）夜勤（0時30分～9時15分）の三交代勤務で、真冬の夜中の通勤を想像してください。医師は勤務終了後もオンコール体制で待機しています。このような厳しい条件で医療を守るには、地域の皆さんの理解や支援が必要です。「一人でも多くの命を守りたい」という願いを実現するため、先生方がこの置賜の地で思う存分力が発揮できるようにご協力をよろしくお願い致します。

くらしの情報掲示板

米沢警察署からの お知らせ

【社会全体で犯罪被害者を支えましょう！】11月25日から12月1日までは犯罪被害者週間です！

不幸にして犯罪の被害にあわれた方は、犯罪そのものだけでなく、心ない噂やショックによる体調不良などにより長く苦しむことがあります。犯罪被害者に理解を示し、社会全体で犯罪被害者を支え、犯罪を許さない街をつくっていきましょう！

▼相談窓口：警察本部犯罪被害者支援室
☎023-626-0110(代)

☎米沢警察署 刑事第一課

☎0238-26-0110

採用関係

訪問介護事業所 嘱託職員募集

▼職種：ホームヘルパー1名

▼雇用形態：常勤（嘱託）

▼期間：平成28年4月1日から1年間

▼年齢：64歳以下（定年65歳）
※資格条件など詳細はお問合せください。

☎川西町社会福祉協議会
☎46-3040

催し

置賜地域議員協議会

地域の課題や施策等について地元議員が審議を行います。県議会の活動を身近で傍聴できる良い機会です。当日会場で傍聴の受付をします。

▼日時：11月20日(金)午後1時～(受付12時30分)

▼会場：置賜総合支庁西庁舎 講堂(長井市高野町2-3-1)

☎県議会事務局政策調査室

☎023-630-2725

青色申告決算説明会

▼日時・会場：①【営業・不動産関係】12月2日(水)午後2時～4時・川西町商工会館

②【農業関係】12月3日(木)午前10時～12時・伝国の杜

置賜文化ホール(米沢市)

▼説明内容：所得税法等の改正点、青色申告の決算の仕

方、消費税の計算の仕方及びe-Taxについて

▼持ち物：筆記用具(決算の手引は当日会場で配付)

☎米沢税務署個人課 税第一部門 ☎0238-22-6320

※音声案内で2番を選択。

企業組合セミナー

企業組合とは個人の創業を応援する制度です。

創業・起業に興味のある方、法人化を考えている任意グループの方等、どなた様でも参加費無料で参加できます。

▼日時：11月18日(水)午後1時30分～3時30分

▼場所：メトロポリタン山形3階「出羽」

▼定員：50名

☎山形県中小企業団体中央会

☎023-647-0360

平成27年度三友堂病院 医学フォーラム

▼日時：11月28日(土)午前9時～正午

▼会場：三友堂病院

▼特別講演

講師 三友堂病院 脳神経 外科医 工藤 陽平先生

▼参加費：無料

▼特設コーナー：薬剤師のおく

すり相談、管理栄養士の栄養相談、各種検査測定体験、体操指導など

☎三友堂病院総務課

☎0238-24-3700

依存症家族教室

依存症(アルコール、薬物、ギャンブル等)に悩んでいるご家族を対象に、家族教室を開催します。

▼期日：11月24日(火) 12月2日(水) 12月7日(月)

▼時間：午後2時～3時30分

▼場所：山形県精神保健福祉センター3階会議室

▼内容：講話及び質疑応答

※1回のみ参加も可

▼申込方法：左記に電話申込

☎023-624-1217

山形県学校保健研究 大会特別講演

▼日時：11月19日(木)午後2時15分開演

▼場所：川西町フレンドリープラザ

▼講師：山形大学基盤教育院 准教授 加納寛子氏

▼入場：無料

☎町教育委員会内 山形県学校保健研究大会実行委員会

☎42-6635

公開講座「置賜の明日の医療を考える」

▼日時：12月13日(日)午後1時30分～午後4時

▼会場：川西町農村環境改善センター

▼講演：これからの地域医療 医療政策への対応

自治医科大学 村松正巳氏

▼参加料：無料

☎申込：置賜総合病院

☎46-5000

平成27年台風第21号 与那国町災害義援金

このたび、台風21号等による大雨災害に遭われた与那国町の方々に対し義援金を左記により受付しておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

▼受付期間：11月30日(月)まで

▼受付方法：役員住民生活課 付近の「募金受付コーナー」に設置の募金箱による受付

※「領収書」が必要な方は、健康福祉課までお越しください。

☎町健康福祉課福祉グループ

☎42-6635

…10月分届出…

お誕生 5人

氏名	性別	保護者	大字
長谷川 竣哉	男	隆太・可奈子	西大塚
吉村 謙希	男	和寿・慶子	西大塚
宇津木 慈	男	勲・睦	上小松
米野 紗那	女	儀昭・愛美	中小松
須貝 陸翔	男	和人・かおり	小松

ご結婚 4組

新郎	新婦	大字
須藤 優太	齋藤 亜美	中小松
遠藤 智広	横尾 奈穂	尾長島
長谷部 祐樹	直海 飛鳥	朴 沢
情野 顕一郎	齋藤 由布子	堀 金

おくやみ 16人


氏名	年齢	大字
高橋 勘七	88	玉 庭
新野 房夫	87	朴 沢
船山 貞雄	74	下小松
須藤 昭典	86	吉 田
小池 すみゑ	79	玉 庭
江本 久司	82	中小松
後藤 とみ子	90	上小松
伊藤 康雄	75	上小松
長谷川 トクヨ	85	大 塚
五十嵐 恵一	59	堀 金
八嶋 清	82	上小松
金田 健二	85	中小松
齋藤 恭雄	88	大 舟
米野 平吉	86	中小松
金田 ゆき	88	小 松
佐藤 洋	44	荏

お詫びと訂正
町報10月号のおくやみ欄のお名前が誤って記載されました。お詫びして訂正いたします。
誤：佐藤そよ 正：佐藤よそ


※「よるこびかなしみ」の掲載については、掲載希望をいただいた方のみ掲載をいたしております。

災害情報を配信する「登録制メール」をご活用ください

◆登録用メールアドレス・QRコード
【bosai-touroku
@town.kawanishi.yamagata.jp】



◆登録解除用メールアドレス・QRコード
【bosai-taikai
@town.kawanishi.yamagata.jp】



11・12月 水道修理当番

080-6008-8330 修理当番直通電話
080-6008-5331

町水道工事業者では、水道の故障、漏水などの際、当番制で修理をお受けします。上記番号で直接当番につながります。
なお、調査費や修理費等については実費負担となります。

期間	当番店(社)	電話番号
11月9日~15日	(株)藤島建設 (株)藤倉設備	☎42-3166 ☎42-3366
11月16日~22日	(株)佐々木建設 (株)黒澤技建	☎42-4171 ☎42-6351
11月23日~29日	(有)米野建設 サイトウ電気設備工業(株)	☎42-2392 ☎42-4111
11月30日~12月6日	(株)殖産工務所 齋藤設備 鹿間工務店	☎42-3500 ☎42-2480 ☎42-3987
12月7日~13日	(株)藤島建設 (株)藤倉設備	☎42-3166 ☎42-3366
12月14日~20日	(株)佐々木建設 (株)黒澤技建	☎42-4171 ☎42-6351

12月 無料相談

内容	日時	場所	予約・問合せ先
健康相談 (こころ・ひきこもりの相談含む)	12月14日(月)・28日(月) 午前9時~午後4時30分	町健康福祉課	町健康福祉課 ☎42-6640
弁護士 消費生活相談	12月9日(水) 午後2時~4時	町役場会議室 (電算室)	町住民生活課 ☎42-6616
行政相談	12月16日(水) 午後1時30分~4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6616
心配ごと相談	12月2、9、16日(水) 午後1時30分~4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	川西町社会福祉協議会 ☎46-3040
多重債務相談	毎週火曜日 午後6時~8時	山形さくらんぼの会 事務所(山形市)	山形さくらんぼの会 ☎023-633-9353
無料法律相談	毎週月曜日 午前9時~午後5時	山形県高齢者総合 相談センター	山形県高齢者総合相談センター ☎023-622-6511

11月の町税等

- 固定資産税・都市計画税(4期)
 - 国民健康保険税(5期)
 - 介護保険料(5期)
 - 後期高齢者医療保険料(5期)
 - 上下水道使用料(10月使用分)
- 口座振替日 11月30日◎
納付期限 11月30日◎

川西町の人口

16,152人(-45)
男 7,901人(-20)
女 8,251人(-25)
世帯数 5,165世帯(-8)
※10月末日現在の住民基本台帳人口

チケット ☎46-3311 FAX 46-3313
申込・問合せ先 E-mail: friendlyplaza@gmail.com

各種公演の開場は30分前となります。

12/6(日) 置賜おやこクリスマスフェスタ

ホールのイベント

絵本&おてて絵本読みまショー

開演：午前10時30分(全席自由)
料金：大人(中学生以上)400円
こども(5歳以上)100円

魔法の笛

開演：午後2時(全席自由)
料金：大人 1,500円
こども 500円(4歳~小学生)
親子 1,800円
(大人1人と子ども1人)

※「魔法の笛」チケットで「絵本&おてて絵本読みまショー」にもはれます。



ロビーのイベントも盛りだくさん!

- おはなしレストラン 午前11時~午後4時
- ワークショップ 午前10時~午後4時
♪ちぎって、はって、紙で遊ぼう!
♪ワイヤーとモールで
クリスマスオーナメントを
つくろう!
- クリスマス絵本や物語を
読んでみよう!

12/23(水・祝) フレンドリークラシック2015 クリスマスに贈る雪の中のクロイツェルソナタ



聖なるクリスマスにお贈りするバイオリンとピアノのデュオリサイタル。
出演は、仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター・ヴァイオリン奏者の神谷未穂さん(NHK・TV「ひるはび」にレギュラー出演中)と、川西町「ふるさと交流大使」でフレンドリークリニック主宰のピアニスト、松川儒さん。
演奏曲は、ベートーヴェン作曲ヴァイオリンソナタ第9番「クロイツェル・ソナタ」ほかです。
恋人、家族、友人と素敵な音に包まれた夜を…

【期日】12月23日(水・祝)
午後4時00分開場、4時30分開演
【会場】フレンドリープラザ・ロビー
【料金】一般 2,500円
PLA's会員 2,000円
25歳未満 1,000円
高校生以下 無料

町立図書館・遅筆堂文庫

●12月の休館日

開館時間	日	月	火	水	木	金	土
火曜日~土曜日 9:30~19:00			1	2	3	4	5
日曜日・祝日 9:30~18:00	6	7	8	9	10	11	12
●は休館日	13	14	15	16	17	18	19
※12月~3月平日の開館時間が変わります。	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

●今月のおすすめ本コーナー

☆クリスマスの本☆

●おはなし会

12月12日(土)11:00~
おはなし会きらきらさんの読み聞かせでお楽しみください

●遅筆堂文庫読書会

12月13日(日)午後2時~

●古本市

読み終えた本をご提供いただき、欲しい方に無料で利用していただく市です。(本は随時受け付け)
12月12日(土)・13日(日)図書館開館時間帯

こどもの本

『うそだあ!』サトシン 作 山村浩二 絵 文溪堂 刊



「うそだあ!」といわずにはいられない、ありえないお話が次々と起きます。バナナがチョコバナナになって、蛇口からジュースが出てきて、ジュースを飲んだらお腹がふくれて…。うそみたいな、でもあったら楽しいお話をぜひ読んでみてください。

おとなの本

『アイヌの世界を旅する』



北原次郎 監修 平凡社 刊
アイヌ民族を日本の「先住民族」と認めて7年。この本には、基本的なアイヌ文化の様子が記載され、図や写真を多用したムック本の形態をとって読みやすくなっています。
また、探検家イザベラ・バードが「アイヌ」を訪れた際、自然の美しさ、友好的な人々の様子を『日本奥地紀行』の中で記していることも紹介されています。

みらい 明日へのバトン

◆シリーズ6 ～農業編～

Interviewer

船山 陽平さん
(小松)



▶これまでの歩み：実家が農家ということもあり、子どもの頃から田んぼが好きだったという陽平さん。

本格的な就農者ではありませんが、農作業の手伝いを精力的に行っています。

▶農業に従事するきっかけ：陽平さんが、農作業に携わるようになったのは今から約5年ほど前で、現在は特に稲作部門について、家族や地域の先輩方に教わりながら、さまざまな作業に携わっていくようにしています。

初めはやらされている意識が強く、なかなか一生懸命とはいかなかったようですが、できることも増え、地域の先輩方にも教えてもらっているうちに、いつの間にか自分から進んで作業をするようになっていく。と教えていただきました。

▶農業の面白さ、難しさ：陽平さんは、農作業をしながらふと周りを見渡すことが多いそうです。その理由は、「広大な田んぼの中で、自分一人だけがぼつんといる。その自然の雰囲気すごく好き」だからだそうです。

もともと農業自体が嫌いなわけではないので、苦もなく作業できているそうです。

まずはやってみること！

▶青年部活動：陽平さんは、一般企業にお勤めされていることもあり、青年部活動にはなかなか参加できていないそうですが、農作業で困っている時や、地域行事で顔を合わせたときに、優しく声をかけてくれる先輩が大勢いて、本当に心強いと思っているそうです。

また、将来的に農業に携わる時間をもっと増やしていきたいと思っている陽平さんにとって、今のうちから農業で頼れる先輩方と交流を持てるのは、今後にとってすごく助かると思うと話してくださいました。

▶最後に：陽平さんは、実際に農作業をしてみて「後継者がいないからという理由で農家が減っていくのは悲しい。もし、実家が農家で、勤めていながら農業をすることをためらっている、自分と同じ年代の若者がいたら、とりあえず手伝いからでもいいから農業をしてみたい。そうすれば、農業の楽しさがわかるはず」と話してくださいました。

現在ねぎの出荷の最盛期を迎えている船山家。父に教えてもらいながら作業をする様子を見ながら、こうやって技術は引き継がれていくのだと感じました。(大)



こめられた 作った人の おもいやり

収穫の時期を迎え、自然の恵みを感じる季節となりました。普段何気なく食べている物は、豊かな自然や多くの人の手によって育まれ、食卓に並んでいます。「いただきます」や「ごちそうさま」にそれらへの感謝の気持ちも込めて、おいしくいただきましょう。

この時期に収穫の
食材より

大豆

- 「畑のお肉」と呼ばれるように良質なたんぱく質をたくさん含みます。
- そのほかにもさまざまな栄養素を含みます。ビタミンE(抗酸化作用)・サポニン(動脈硬化の防止)食物繊維(コレステロールの低下)など。

さらに、川西町の特産『紅大豆』は・・・

- 大豆イソフラボン(骨粗しょう症予防)やGABA(高血圧予防)を普通の大豆よりも豊富に含みます。
- 納豆にするとオルニチン(解毒作用)が含まれます。



そのまま飲んでも、料理に使っても！ 手作り豆乳

＊材料＜出来上がり約500ml分＞

- 乾燥大豆 150g
 - 水 500ml
 - 差し水 250ml
- 『紅大豆』を使えば、ほんのり桜色に仕上がります！

＊作り方

- ① 洗った大豆を水に浸し、一晩おく。
- ② 大豆と浸した水をミキサーにかけ、細かく刻む。
- ③ 鍋にうつし、中火から弱火で焦げ付かないように加熱する。途中、吹きこぼれそうになったら、数回にわけて差し水をする。
- ④ 10分ほど煮つめたら、清潔な布巾でこす。(布巾に残ったものが『おから』です！)